

愛称 マリンラボ長崎

# 漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科  
 〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346  
 ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

## 対馬・壱岐海区におけるスルメイカ漁況予報

**「対馬・壱岐海区における1月～2月のスルメイカの漁獲量は、平年並み（過去5ヶ年平均）でしょう。」**

### 予測の考え方

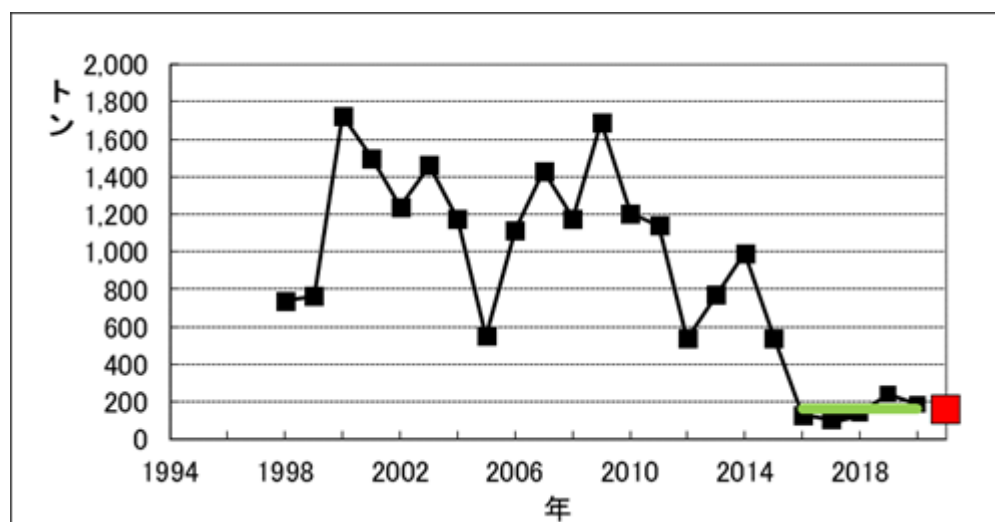
- 概ね12月下旬から漁期に入り、主に1～2月に漁獲対象となる冬生まれ群は、東シナ海で冬季に生まれた後、春から夏に成長しながら北海道周辺まで北上し、秋から冬に産卵のために日本海を経て東シナ海へ南下します。本県近海では、この南下群を冬季に漁獲対象としています。
- 今期の予測は冬季発生群の加入状況や漁場への来遊状況が根拠となります。

### 予測の根拠

- スルメイカ冬季発生群の令和2年度における資源状態は、親魚量は横ばいながら、MSY（最大持続生産量）を達成する水準よりも低い、とされています。
- また、加入量推定を行うために、春・秋に実施された漁場一斉調査の結果では、今期の冬季発生群の量は概ね前年を下回る、と見積もられています。
- 一方、今季11月時点でのスルメイカ冬季発生群の漁獲量も概ね前年を下回る、と見積もられています。

以上のように、現在の漁獲は前年を下回り、加入量も低いと考えられることから、対馬・壱岐海区におけるスルメイカの今期（1～2月）の漁獲量は、**前年値よりも低い平年（過去5ヶ年平均）と同様の値（平年並み）**と予測しました。

- 【参考】対馬・壱岐海区代表漁協における12～2月のスルメイカ漁獲量  
 平年値（過去5ヶ年平均） : 161トン  
 令和2年度漁期 : 187トン



対馬・壱岐標本漁協におけるスルメイカ漁獲量 (図中緑線平年値 : 12-2月 : 赤枠は予測値)

上回る	並み	下回る
前年の1.2倍以上	前年の0.8～1.2倍	前年の0.8倍以下